



# 認 定 書

国住指第230号  
平成14年2月4日

日鐵建材工業株式会社  
代表取締役社長 岡田明久 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号並びに同法施行令第107条第一号及び第二号（床：2時間（第一号）、1時間（第二号））の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
FP120FL-9015
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称  
軽量コンクリート・デッキプレート床
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容  
別添の通り

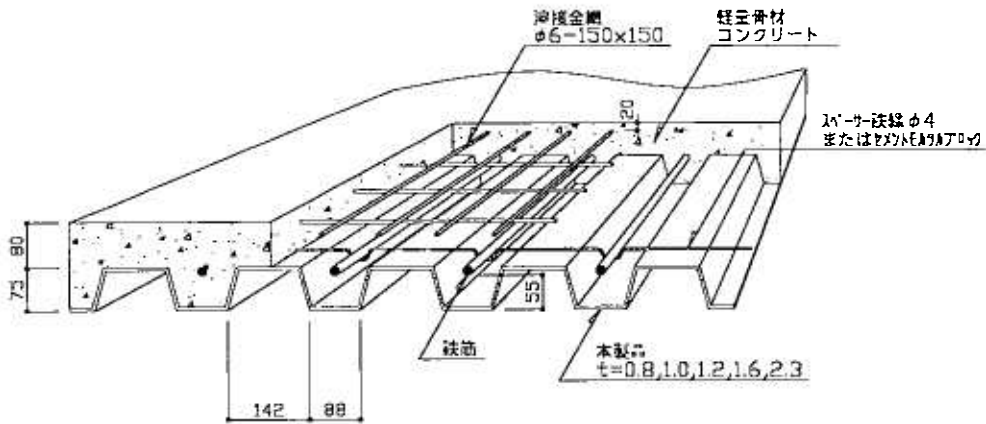
指定番号	FP120FL-9015	指定年月日:昭和60年7月12日
品目名	軽量コンクリート・デッキプレート床	申請者名: 日鐵建材工業(株) 東京都江東区木場2-17-12

1. 部分、耐火性能の区分 床 2時間耐火

2. 試験機関名 (財)建材試験センター中央試験所 受託番号 第28076号

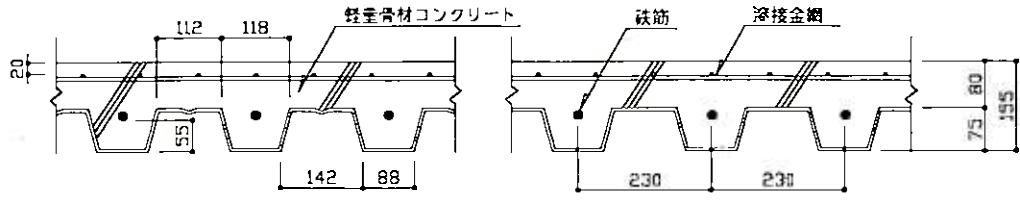
3. 構造説明図(単位 mm)

見取り図



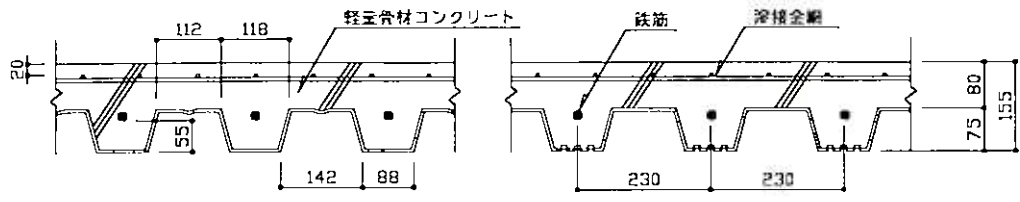
断面図

板厚 (mm) 0.8、1.0、1.2、1.6、2.3



A型

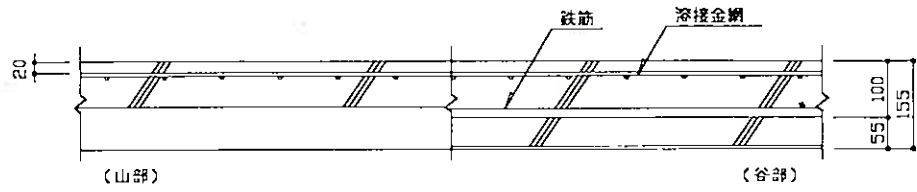
B型



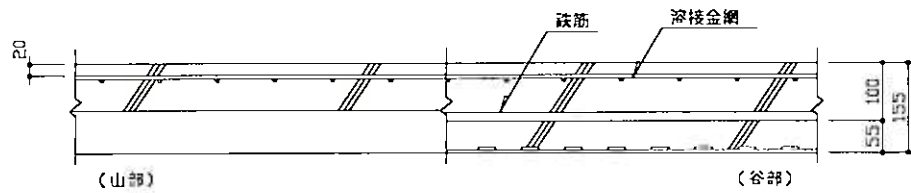
C型

D型

横断面図 S:1/10



A型またはB型



C型またはD型

縦断面図 S:1/10

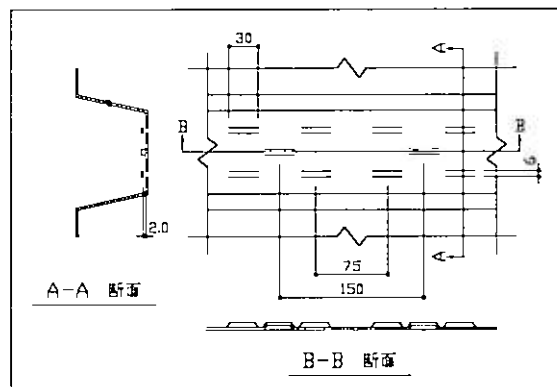
#### 4. 材料等説明

##### 4.1 主構成材料

###### (1) デッキプレート 日鐵建材工業(株)製

品名	デッキプレートの形状	JIS G 3352分類	板厚(mm)
A型		BLDシリーズ	0.8
B型		ALNシリーズ	1.0 1.2
C型		BLDの溝にスリットをいれたもの	1.6
D型		ALNの溝にスリットをいれたもの	2.3

スリット形状(スリットデッキプレートの場合のみ)



###### (2) 鉄筋

「JASS 5 鉄筋コンクリート工事標準仕様書」に準じ、 $\phi 13$ (D13)以上。

###### (3) 軽量骨材コンクリート

「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に準ずる。設計基準強度は $180\text{kg}/\text{cm}^2$ ( $18\text{N}/\text{mm}^2$ )以上。人工軽量骨材は通達で規定されているものを使用する。

軽量骨材コンクリート標準調合表

コンクリート強度 kg/cm <sup>2</sup>	水セメント比 o/wt	スランプ cm	単位水量 kg/m <sup>3</sup>	セメント kg/m <sup>3</sup>	細骨材 kg/m <sup>3</sup>	粗骨材 kg/m <sup>3</sup>
180以上 (18N/mm <sup>2</sup> )	60.3	15	190	315	861	429

粗骨材の最大寸法 15mm  
 細骨材 5mm  
 細骨材率 48.7%

#### 4.2 副構成材料

- (1) 溶接金網  
φ6-150×150
- (2) スペーサー  
鉄線φ4以上またはセメントモルタルブロックとし、ピッチは1mとする。

#### 5. 標準仕様(施工仕様)

- (1) デッキプレートの敷込み  
割付計画に従って通りよく敷込み、谷部分にて仮留めする。
- (2) シャー・コネクター  
必要に応じてはり上に取り付ける。
- (3) 配筋  
デッキプレートの谷部にスペーサーを介して鉄筋を配列する。
- (4) 溶接金網の敷設  
スラブ上面より約2cmの位置に溶接金網を入れる。
- (5) コンクリートの打設  
鉄筋が移動しないように注意しながらコンクリートを不陸なく打設する。  
コンクリートの施工については「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に準ずる。
- (6) 仕上げ  
原則としてコンクリートの表面に金ごて等の仕上げを施す。
- (7) 養生  
施工後の養生は「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に準ずる。

#### 6. 留意事項

- (1) デッキプレート  
長尺ものの揚げ降ろしには、必ず台盤を使い二点吊りする。また、保管が長びく時は1~1.5mピッチに枕木を並べ、その上に重ねる。

(2) セメント・骨材・溶接金網

「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に準ずる。

7. 付帯条件 な し